

科目名	社会心理学特講	担当者	ワダ マキ 和田 万紀	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	----------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	心理学の視点から社会心理学に関する研究をまず俯瞰する。そして、最近の社会心理学の研究を深く読み解き、研究成果の理解とその考察を通して、社会に生きる動物としての人間を考えることを目的とする。		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】</p> <p>問題発見・解決能力＝事象を注意深く観察し、解決策を提案することができる。論理的批判的思考力＝得られた情報を基に、論理的で客観的な思考ができる。</p> <p>社会心理学の視点から、科学的に検証されたデータと理論を基に、個人、集団、集合、文化のレベルから現代社会を生きる人間の心理、行動を理解して考察する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>社会心理学の対象領域における研究、理論を俯瞰して、理解することができる。自分の興味に応じて、社会心理学の研究、理論を理解して、報告書を書くことができる。現代社会の問題について、社会心理学の視点から意見を述べるができる。(知識、技能)</p>		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>人間科学特講、産業組織心理学特講、調査分析特講などにおいて提供されているオープンエデュケーション教材を参考補助として視聴する。</p> <p>【学修方略 (LS) と学修時間】</p> <p>課題に沿ってテキストや参考図書、さらに必要に応じて文献検索を行い、それらの内容を理解して文章を作成する。その際に理解の困難やまとめ方が不明な場合には、manaba folio を利用して、個別に指導を受ける。そしてレポートの遂行を重ねながら、最終稿を提出する。</p> <p>1つのレポート作成につき、基本教材や参考書等を読み、まとめる作業に25時間以上、レポート提出、修正、担当者とのやり取りに20時間以上を目標とする。</p>		
スケジュール	<p>前期；教材1のレポート課題(1)の草稿は7月末、課題(2)の草稿は8月末を目安に提出できるようにする。最終稿は9月中旬をめぐり、学事歴で定められた日までに最終稿を提出する。</p> <p>後期；教材2のレポート課題(1)の草稿は11月下旬、課題(2)の草稿は12月中旬を目安に提出できるようにする。最終稿は1月中旬ごろを目安にして、学事歴で定められた日までに最終稿を提出する。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	75 %	最終提出期限内に、最終稿を提出すること。課題図書や文献などの内容を十分理解しているか、最新の知見を含めて自分の言葉として表現されているか、等について評価する
	観察記録	25 %	最終提出期限内に、草稿を修正しながら最終稿を提出すること。草稿は、文章表現や内容のまとめ方、引用などについて修正を重ねること。
履修者への要望	<p>文章表現は、論文の体裁を満たしていること。エッセイ等のように自分の関心事だけを述べて、提出された場合には、評価の対象とは致しません。引用文献、参考文献等は、分けて記載してください。心理学の基礎知識や理論について不明な場合には、適宜辞典等を参考としてください。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： (1)田之内厚三編 「ガイド社会心理学」北樹出版 2006年 1900円*税 教材名： (2)池田謙一・唐沢謙・工藤恵理子編 「社会心理学」有斐閣 2010年 3456円*税
	図書(1)は、伝統的な社会心理学の研究範囲を網羅して書かれた教科書である。 図書(2)は、最新の社会心理学の知見を網羅した教科書である。
参考図書	中島義明編 心理辞典 有斐閣 1999年 6800円*税
履修上のポイント	図書(1)によって社会心理学研究の伝統的な研究領域の俯瞰をしてください。その後(2)に進んでください。参考図書を利用しながら、他の心理学関連科目も履修することが望ましい。
レポート課題 1	教材(1)の各章を、それぞれ1000字程度に要約してまとめなさい。最後に、課題(1)の図書を読んで何を考えたのか、さらに感想を述べなさい。 留意点 ：最初は字数を気にせずに少し多めに文章を作成してください。それから字数に対して近づくように簡潔にまとめなおしてレポートを作成してください。
レポート課題 2	教材(2)の社会的認知・自己と他者・社会関係から集団ネットワークへ、について、それぞれ1000字程度に要約してまとめなさい。 留意点 ：最初は字数を気にせずにまとめてみる。その後には字数に近づけるようにまとめなおすこと。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： (1)池田謙一・唐沢謙・工藤恵理子編 「社会心理学」有斐閣 2010年 3456円*税 教材名： (2)各自の興味に応じて、社会心理学関連シリーズ等や文献を検索して報告する
	(1)は、最近の社会心理学の知見を網羅した教科書である。 (2)は、これまで検討した内容を自分の興味に応じて図書選択や文献検索等を行い、課題文献を決定する。
参考図書	中島義明編 心理辞典 有斐閣 1999年 6800円*税
履修上のポイント	教材1の課題(2)は、教材2の課題(1)と同じ教材です。不明な点は参考図書や各自文献検索等をおこなって補強してください。
レポート課題 1	社会文化社会の中の個人、の各章について、それぞれ1000字程度に要約してください。 留意点 ：最初は字数を気にせずにまとめて、その後字数に近づくように推敲してみてください。
レポート課題 2	教材1、教材2を読んで自分の興味、専攻等と関連するテーマを選び、それに沿った図書、または文献を検索して、その内容、各章についてまとめてレポートしてください。図書の場合は各章1000字程度にまとめてみてください。文献の場合は、手続き、結果、著者の考察を述べた後で、自分の立場、考察等をまとめて記述してください。 留意点 ：自分の興味あるテーマが、実際にどの様に研究されて考察されているのか、について社会心理学の点から検討してください。最初は字数を気にせずに記述して、それを修正しながらまとめて直す、という「訓練」を経験してください。

基本教材 1

第 1 回	教材の確認と本科目及び課題の理解
第 2 回	課題（1）と課題（2）について、教材の確認
第 3 回	教材 1 課題（1）の学修：目次を利用して、社会心理学の研究の俯瞰をする
第 4 回	教材 1 課題（1）の学修：内容を学修する
第 5 回	教材 1 課題（1）の学修：理解に困難がある箇所を、参考図書や文献検索から参照して確認する
第 6 回	教材 1 課題（2）の学修：目次を利用して、最近の社会心理学研究を俯瞰する
第 7 回	教材 1 課題（2）の学修：内容を学修する
第 8 回	教材 1 課題（2）の学修：理解に困難がある箇所について参考図書等を参照、文献検索で確認する
第 9 回	課題（1）：初稿作成
第 10 回	課題（1）：添削指導の結果から修正稿の作成
第 11 回	課題（1）：最終稿の作成と提出
第 12 回	課題（2）：初稿の作成
第 13 回	課題（2）：添削指導の結果から修正稿の作成
第 14 回	課題（2）：最終稿の作成と提出
第 15 回	レポート課題（1）（2）を通じて本課題に関する全体的な理解の検証と確認をする

基本教材 2

第 1 回	教材の確認と本課題の理解
第 2 回	課題（1）の学修：目次を利用して対象となる範囲の確認と学修
第 3 回	課題（1）の学修：内容の理解に困難がある場合は参考図書等を参照して理解する
第 4 回	課題（1）の学修：各章の概要の理解の程度を確認をする
第 5 回	課題（2）の学修：自分の興味あるテーマの選定
第 6 回	課題（2）の学修：選択したテーマに関する図書または文献を入手して概観する
第 7 回	課題（2）の学修：入手した図書、文献について、その内容を理解して自分の考えをまとめる
第 8 回	課題（2）の学修：内容の理解に困難がある場合、さらに参考図書や文献等から理解をすすめる
第 9 回	課題（1）：初稿作成
第 10 回	課題（1）：添削指導に対する修正稿の作成
第 11 回	課題（1）：最終稿の作成と提出
第 12 回	課題（2）：初稿作成
第 13 回	課題（2）：添削指導に対する修正稿の作成
第 14 回	課題（2）：最終稿の作成と提出
第 15 回	レポート課題を通じて、本課題に対する全体的理解の検証と確認